

「令和5年度第3回 独立行政法人勤労者退職金共済機構契約監視委員会」の審議概要について

開催日 及び場所	令和6年3月18日(月) 勤労者退職金共済機構19階役員会議室(Web開催)
委員 (敬称略)	竹内 啓博(公認会計士) 田極 春美(三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱主任研究員) 山本 勲(慶應義塾大学商学部教授) 清水 幸(独立行政法人勤労者退職金共済機構 監事) 熊谷 麻貴子(独立行政法人勤労者退職金共済機構 監事(非常勤))
審査対象	令和5年11月～令和6年1月に契約締結された案件
概 要	<p>● 点検・見直しの審議について                  令和5年11月～令和6年1月契約の事後点検についての審議                  【競争性のない随意契約】 合計 1件                  【一者応札・一者応募】 合計 6件</p> <p>【主な指摘事項等】</p> <p>(1)随意契約</p> <p>①「中退共システム再構築に係る業務部門支援業務」                  令和2年度に調達を行った中退共システム再構築プロジェクト全体の工程管理等に                  係る業務のうち、業務部門の支援業務については、職員自身で実施することを想定し                  ていたが、実際に稼働する中で、通常業務を行いながら当該業務を行うことは困難と判                  明したことから、業務部門の支援業務について追加契約を行った。発端となる令和2年                  度の調達において、業務部門支援業務についての判断が適切であったか検証を行う                  必要があること。また、今後同様の案件が発生した場合、CIO 補佐官等システム関連                  の業務内容に精通した者に、金額の妥当性だけでなく、業務支援の見込みについ                  ても適切であるか、確認を取るよう努めること。</p> <p>(2)一者応札・一者応募</p> <p>①「中退共システム再構築に係る基盤構築業務」                  市場価格と現行業者から徴取した見積りを比較し、高い方の市場価格を予定価格と                  して設定したことについて、適切であるか検討する必要があること。                  予定価格の設定に当たっては、その方法が妥当であることを説明できるようにするこ                  と。</p> <p>②「コールセンターシステム・ネットワーク設備構築及び保守業務」                  仕様書では特定の製品を指定するのではなく、同等品として特定製品を記載したと                  ころであるが、必要に応じて条件をより汎用的なものに変更するなど、仕様内容を精査                  すること。</p>

**【指摘事項等に対する対応】**

(1) 随意契約

令和2年度に行った、中退共システム再構築プロジェクト全体の工程管理等に係る業務の調達について、当時、業務部門の確認作業等を職員自身で対応可能と見込んだ判断が適切であったか検証を行い、同類の事案が今後発生しないよう努めてまいりたい。また、次回以降、業務の一部を職員自身で対応することを想定する場合、CIO 補佐官等のシステム関連業務に精通した者に当該想定が適切であるか確認を取る等、プロジェクト管理の精度を高めることとしたい。

(2) 一者応札・一者応募

① 予定価格の設定にあたっては、調達内容や徴取した見積り等によって、その調達に適した予定価格を立てることとしており、予定価格の設定方法を一律に規定することはできないものの、調達ごとに明確な説明ができるよう、予定価格の設定には注意を払って取り組んでまいりたい。

② 仕様書作成にあたっては、製品仕様の範囲が狭く設定されていないか等を精査し、今後仕様書に記載する文言を検討してまいりたい。